

# 南信州広域連合第10回広域連合会議 結果報告

日時：令和2年1月14日(火) 14:10～14:38

場所：県飯田合同庁舎502、503号会議室

## 【出席者】14市町村長、副管理者

〔南信州地域振興局〕丹羽局長

〔飯田建設事務所〕丸山所長

〔飯田保健福祉事務所〕松岡所長

〔飯田広域消防〕赤羽目消防長・有賀消防次長兼総務課長

〔飯田環境センター〕北原事務長

〔事務局〕高田事務局長・松江事務局次長・加藤次長補佐兼庶務係長

櫻井次長補佐兼広域振興係長・秋山介護保険係長・宇佐美庶務係主事

## 1 開会…14:10

## 2 広域連合長あいさつ

昨年は、全国的に非常に災害が多かった。改めて飯田下伊那地域の全体の防災体制の更なる促進に意を配していきたい。

南信州地域振興局長に新たに丹羽局長が就任。丹羽局長にあいさつをお願いしたい。

### \*丹羽局長あいさつ

飯田合同庁舎勤務は3回目。5年ぶりに飯田合同庁舎に戻ってきた。

県としては、「しあわせ信州創造プラン」をしっかりと実行していき、市町村長方、関係者方の率直な意見をいただきながら、県としてやっていくべきこと等を明確にして事業を進めさせていきたい。

## 3 協議・報告事項

### (1) 南信州地域の高校の将来像を考える協議会の意見・提案書について（資料No.1）

【説明者：加藤次長補佐兼庶務係長】

昨年6月に協議会を立ち上げ昨年末に協議を終了し、県教委に提出する意見・提案書がまとまったので報告をする。

意見・提案書は、長野県教育委員会教育長あてとし、令和2年1月20日に提出する。

意見・提案書の内容は、「1南信州地域の高校の現状」として、南信州地域の生徒数、進学状況、各高校の取組みなど現状を記載。「2南信州地域の高校教育の課題」として、県から当地域に示された課題について記載。それらの現状と課題を踏まえて「3南信州地域の高校の学びのあり方（将来像）に向けた意見」として、どういった学びの場があったら良いかという意見をまとめた。最後に「4課題解決に向けた取組み」を記載。

「4課題解決に向けた取組み」が、今回の協議会の議論の集約部分であるので、この部分について説明をする。

第2期長野県高等学校再編計画の中では、当地域での高校の統廃合はないということがあったが、向こう10年間の計画の中で当地域が県教委に対して意見を提案していく部分とすると、県教委だけでなくこの地域全体でその先のことも考えた検討といったことでまとめた。

4(1)は、多様な生徒の生活、多部制・単位制の部分で、ここではこの地域に多部制・単位制を導入していく効果について議論を十分行い評価したもの。具体的な取組み内容では、現在設置されている飯田OIDE長姫高校の夜間定時制を活用し、多部制・単位制の要素を取り込んだ柔軟な学びのシステムを構築することが望ましいという結論付けをした。ただ、その機能の補完に当たっては、必要となる施設、

教職員の適正配置等、運営に支障がないよう十分な配慮が必要であるとして、住民説明会で出た意見を反映させた。

4 (2) 地域と連携した学びの取り組みでは、地域の特色である地域人教育について地域全体で取り組むようにしていくとか、地域に定着する人材育成につながる学びとして専門的な知識、技術を習得できるよう専門教育に必要な設備は先端技術に配慮したものを備えていただきたいといった要望などもあげた。

4 (3) 中長期的な課題に対する検討では、長野県教育委員会だけでなく、南信州地域としても継続して検討していくべき部分としてまとめたもの。少子化を踏まえた高校の将来像については、公立高校だけではなく私立高校も含めた圏域内8高校が一丸となって取り組んでいく。普通科においては特色を活かした特徴的で魅力のある学びの場、専門学科においては地域の産業を支える人材の育成につながるような学びの場といったこと。リニア中央新幹線の開通を機に、高校の魅力化を推進すること。

今後圏域内の人口が減っていくというのは明らかで、この地域においても再編整備は避けられない状況が予想される。来るべき時期に備え、機をとらえてこの南信州地域の高校の将来像についての議論を進めていく必要があるとして、今回の協議会とは別の場で、広域連合会議や教育連絡協議会といった場での議論を考えている。

意見・提案書の提出に、委員の首長方にもぜひ行っていただきたい。

→ 説明内容確認、質疑なし。

連合長： 意見なしということで1月20日に県の教育長にこの意見・提案書を提出する。

※意見・提案書の提出については、松川町長、阿南町長、塩澤市公民館長が同行する。

(2) 地域包括ケアシステムを考える住民フォーラムの開催について (資料No.2) 【説明者：松江事務局次長】

放送大学から在宅医療地域包括ケアシステム推進のための人材育成研修事業ということで提案があり、これは放送大学が勇美記念財団から補助を受けて行う事業で、この地域でも一緒に取り組めないかと話があった。

医療介護の専門職員、福祉関係の行政職員をターゲットにして、スキルアップ研修を複数年にわたり実施したいというもので、全国のいくつかの地域が選ばれる中でこの地域にも声を掛けていただいた。

広域連合で在宅医療・介護連携推進協議会が組織されているので、この協議会で取り組みたい。来年度以降の事業については、この協議会で内容を詰めていくが今年度はキックオフイベントとして住民向けの講演会を行う。

内容は、アドバンス・ケア・プランニング (人生会議) で、人生最期のときに向けて本人、家族、医療ケアチームが繰り返し話し合いを持つというような仕組みで、このことについて住民に理解を深めていただくもの。

開催日時は2月24日 (月・祝) 13:30~15:00、会場はエス・バード。

講師は、福井市オレンジホームケアクリニック副院長の西出先生で、人生会議について理解が深く、一般向けに話がわかりやすいと定評がある。

この地域では人生会議について、「事前指示書」という仕組みを使って普及させているので、これについては高森町の後藤先生にお話をいただく。

スタッフについては、事務局と各ブロックの福祉関係職員2名位ずつお願いしたい。

(主な意見等)

阿南町： 飯田市は公民館活動で取り組んでいるが、これは本当に大事なこと。広域連合として真剣に取り組んでいただきたい。

高田局長： 少人数でこの勉強会を色々なところで開催できる予算を用意して、後藤先生にも精力的に動いていただいているので、しっかり広域連合としても取り組んでいきたい。

(3) 後援依頼について (資料No.3) 【説明者：加藤次長補佐兼庶務係長】

審査案件3件、全て例年承諾いただいているもの。

- ・「第34回飯田やまびこマーチ」、令和2年4月25日、26日開催。
  - ・「飯伊地区医療職就職ガイダンス」、今回で10回目。令和2年5月2日、飯田女子短期大学で開催。主催は飯伊地区包括医療協議会。
  - ・「オーケストラと友に音楽祭2020」、令和2年5月2日～5日開催。
- 異議なし、承認。

(4) その他

高田局長： 「リニア開業を見据えたまちづくり講演会」について、県リニア局から周知の願いがあったので、各市町村自治体の職員への周知をお願いしたい。  
申込期限は1月24日（金）、申込書はリニア推進局の資料にあるとおり。

4 長野県

(1) 南信州地域振興局

\*地域振興局長からの提案、意見等の反映状況について

県の令和2年度当初予算編成に当たって、各地域から本庁部局に対して提案・要望を行ったもの。地域の目線から複数の事業を一体的に実施する事業提案と、現行事業への意見・要望としてまとめである。

南信州からは、「民俗芸能の保存・継承・活用支援」以下5項目を事業提案した。現行事業への意見・要望では、「おいしい信州ふーどの魅力発信事業」以下6項目を提案した。

本資料は、先月公表の予算要求の概要に合わせて公表されているものがあるが、予算査定の中で変更があり得るもの。

\*令和2年度地域発元気づくり支援金について

募集を1月6日から開始している。締め切りは2月3日。各市町村においては、積極的に応募いただきたい。この事業は、できるだけ効果のあるものにしていきたいので、疑問点、相談したいことなどあれば、遠慮なく地域振興局まで問い合わせいただきたい。

(2) 飯田建設事務所

→ 報告事項なし。

(3) 飯田保健福祉事務所

→ 報告事項なし。

5 当面の日程について

1月29日（水） リニア開業を見据えたまちづくり講演会（エス・バード） 10：30

6 閉会…14：38